



富山製紙株式会社 様

段ボール中芯原紙および、紙管原紙の製造・販売。

4つのビジョン「誠実 / 高品質 / 環境配慮 / 社員の働きがい」のもと、原料の調成や薬品の添加、抄造条件などの技術ノウハウを活かし、お客様のさまざまなニーズに的確かつ迅速に応える多品種少量生産を推進。加工がしやすく、しなやかで強い原紙をご提供しています。

導入事例 ターコイズ販売管理 V5 クラウド

出荷作業時間 50% 削減、待機時間も短縮！

使いやすいシステムで従業員満足度UP

制度改正への対応をきっかけに、システムや業務の潜在的な課題に取り組むことに。ビジネスの変化に対応でき、安心のサポートで、業務効率化を実現できる『ターコイズ販売管理V5クラウド』を導入しました。1次ステップでは、旧システムの踏襲と出荷業務の改善に注力し、作業時間の短縮や従業員満足度の向上を実現できた事例をご紹介します。

取材協力

取締役 業務統括部長 津田 朋彦 様

取締役 営業部 部長 山本 進 様

導入事例
完全版を見る



課題

- ・柔軟性 / 拡張性の高いシステムの導入
- ・出荷作業の効率化と
ドライバーの待ち時間軽減
- ・販売管理業務の標準化と属人化解消

効果

- ・安心して使い続けられるシステムが実現
- ・出荷作業時間を 50%削減！
- ・残業時間の削減、休暇日数の増加で
従業員満足度UP！

ー検討のきっかけを教えてくださいー

インボイス対応をきっかけに、旧システムの継続使用は困難と考え、システム刷新を決意。検討の中で、以前からの潜在的な課題にも取り組み、将来の拡張性確保や業務効率化を目指しました。

ーどのような課題をお持ちでしたか？ー

旧システムは複数のカスタマイズにより「つぎはぎ状態」に。他システムと連携できなかったため、非効率な業務が多発し、拡張性や将来性に不安がありました。

また、出荷作業時、伝票にスリッター品※の製造番号を手入力していたので、トラック1台の出荷作業に1時間以上かかりドライバーをお待たせしてしまうことも。

さらに、旧システムは画面の統一性が無

※ロール状の紙やフィルムなどを指定の幅に切断し、再度ロール状に巻き取る加工（スリット加工）を施した製品

く、入力作業にコツが必要。特定の担当者しか対応できないなど、属人化の課題もありました。当社は、“お客さまをはじめ、かわる全ての人々を大切に”という強い思いがあり、これらを実現するためには課題解決が急務でした。

ー採用の決め手を教えてくださいー

現状分析から業務効率化に向けて、親身に対応してくれる点です。打合せの中で課題を明確にし、改善策を提案してくれたので、当社の思いを実現できると感じました。



ー工夫した点を教えてくださいー

1次ステップは「旧システムの踏襲」、2次ステップは「業務効率化」とテーマを分けて対応。特に急務だったドライバーに関わる部分は先に着手し、出荷作業がスムーズになり早期に効果を実感できました。

ー効果はいかがですか？ー

導入後、システムにつながりができ「つぎはぎ状態」は解消。業務毎の二重入力や転記作業などの非効率業務が削減でき、法

改正や運用変化にも柔軟に対応可能となり、安心の継続使用が実現しました。

スリッター品を出荷する際は、加工指示書番号を入力すると、製品情報が自動入力できるように。出荷時間を50%削減でき、ドライバーの待機時間短縮にもつながりました。

ターコイズ販売管理は、画面の統一感があり、シンプルで分かりやすいので、担当者に依存することなく操作が可能。業務の標準化が進み、属人化も解消できました。

全ての業務で残業削減を達成し、従業員満足度が向上。今回のシステム導入が、働き方改革の後押しにもつながりました。

ー今後の取り組みや展望を教えてくださいー

さらなる業務効率化を目指し、2次ステップの対応中です。少しでも大企業の効率化に追いつけるよう、1人ひとりのアイディアを大切に、引き続き成功に向けて取り組みたいです。



富山製紙株式会社



お知らせ

New Member



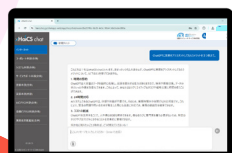
4月1日、グループ合計34名の社員を新たに迎えました。みな緊張した面持ちでしたが、希望を胸に社会人としての第一歩を踏み出しました。今後は社内研修を通じ、専門技術の習得を目指します。今後の活躍にご期待ください。

お知らせ

競争力を高める
New Technology

AI活用は、業務効率化やコスト削減を実現し、中小企業にとっても競争力強化の鍵です。総務省の調査によると、6割以上の企業が「活用しないと競争力が失われる」と認識しています。

また2025年は「AI エージェント元年」とも言われており、人間が細かな指示を出さなくても、自律的にタスクをこなす技術が登場しています。当社では、対話型チャットやチャットボット、アバターなどを通じて業務効率化を支援してきました。今年は新たに「AI エージェント」の検証も進め、より安心・安全に活用できる環境を整えていきます。

対話型
AIチャットAIと
基幹システム
連携AI
アバターAI
エージェントHCSが提供する
AI技術AIチャット
ボット

イベント出展のご案内

e-messe
kanazawa 20255/23金-24土
石川県産業展示館 3号館

日本海側最大のICT展示会「e-messe」で、AI技術を体験可能！毎年好評の見て・触って・体験できる弊社ブースに、ぜひお立ち寄りください。

e-messe に申し込む >



セミナー開催のご案内

人手不足
対策セミナー4/22火-23水
富山・金沢・福井会場

AI技術を駆使した、業務・現場部門の属人化解消法を本セミナーでご紹介！弊社HPにて詳細をご確認のうえ、ぜひお申し込みください。

セミナーの
詳細をみる >

HCSのよこが

S I ビジネス本部
I T イノベーション部いわさき せいや
岩崎 聖也 さん

Q. 業務内容を教えてください。

大手IT企業の社内システムのエンジニア(拡張・性能向上)業務に携わっています。最初はシステム理解に苦戦しましたが、今は経験を積み知識が定着し、日々の努力を実感できています。

昨年度、初めてシステムの老朽化対応を行い、1からプログラムを作成し

ました。初挑戦で不安でしたが、上司のサポートのもと無事リリースでき、達成感が大きく自信につながりました。

今後は、開発で得た知識を活かして要件定義などの上流工程も担えるよう、積極的なコミュニケーションを意識し、さらなる知識習得とスキルアップを目指して努力を続けたいです。

Q. 趣味を教えてください。

エレキギターを弾くことです。時間がある時は自宅で弾いたり、ライブハウスでライブをすることもあります。好きな曲を自由に楽しめることが魅力で、ストレス



発散やリフレッシュにもつながっています。
2年前に念願だった新しいギターを購入しました。これからも大切な趣味としてずっと続けていきたいと思っています。

編集後記

暖かい日差しが心地よく感じられる季節となり、桜も見ごろを迎えています。フレッシュな新入社員も迎え、心も新たに前向きな気持ちで日々過ごしていきたいものです。

さて本号では、さまざまな業種のお客さまにご利用いただいている『ターコイズ販売管理』の活用事例をご紹介しました。事例のお客さまのように、「潜在的な課題」は先延ばしにしがちに…。この機会に、自社業務や運用を見直し、業務効率化、従業員満足度UPに向けて次なるステップを目指してみませんか？ぜひ、ご相談ください。(うえずぎ)

皆さまのご意見をお聞かせください

より役立つ情報掲載のため、皆さまの「気になる」「知りたい」コト、掲載記事のご感想などをぜひお聞かせください。

『HCS NewsLetter ご意見箱』への投稿はこちら→



全カパートナー



北陸コンピュータ・サービス株式会社

NewsLetter 編集室

TEL: (076)495-9824 HP: https://www.hcs.co.jp/

※イラストの一部は rawpixel.com / Freepik (Freepik.com) のリソースを使用してデザインしています。

本ニュースレターに記載の情報はすべて編集時点のものです。情報の内容やURLなどが変更されている場合があります。予めご了承ください。また、本文中の商品名・会社名は各社の商標または登録商標です。